



真中便り

【校訓】 自主・自愛・自省

2026. 8. 25 8月号
厚岸町立真龍中学校
☎ 0153 (52) 3211
発行責任者 松永 達郎



欠席連絡用
QR コード

※電話連絡の場合は
8:10以降に！

9月の行事予定

「防災の三助（自助・共助・公助）」

校長 松 永 達 郎

例年より長い32日間の夏休みが終わり、2学期が始まりました。夏休み中に行われた「少年の主張 釧路振興局大会」では、3年生の加藤さんが優良賞を受賞。さらに、本校の生徒も所属する「厚岸 jr.ウィンドバンド」が、C編成で吹奏楽コンクールに出場し、見事金賞を受賞、全道大会出場を決めました。全道大会は8月30日（日）に札幌の Kitara で行われます。きっと他にも、私の知らないところで活躍した人がたくさんいたことと思います。

さて、7月28日に発生した「令和8年熊本地震」では、熊本県内で震度7を観測し、多くの住宅や道路などに被害が生じました。発災直後には、公的支援だけでなく、住民同士の助け合いや日頃の備えの重要性が改めて認識されました。こうした災害の教訓を踏まえ、9月1日の「防災の日」を機に、一人ひとりが災害への備えについて考えることが大切です。

災害による被害を最小限に抑えるためには、「自助」「共助」「公助」という三つの防災の考え方、いわゆる「防災の三助」が重要です。

「自助」とは、自分自身や家族の命と安全を自ら守ることです。家具の転倒防止対策や非常持ち出し袋の準備、水や食料の備蓄など、日頃からの備えがその基本となります。

「共助」とは、地域や近隣の人々が協力し、助け合うことです。災害時には、高齢者や子ども、障がいのある方など支援を必要とする人が多くいます。そのため、近隣住民同士で声を掛け合い、互いに支え合える関係づくりが大切になります。日頃から地域行事などに参加し、顔の見える関係を築いておくことが、いざという時の大きな力になります。

一方、「公助」とは、市町村や消防、警察、自衛隊などの公的機関による支援活動を指します。救助活動や物資の供給、避難所の開設などがその役割です。しかし、大規模災害では、公的機関による支援がすぐに行き届かない場合もあります。そのため、発災直後には「自助」と「共助」が特に重要になります。

私たちが主体的に取り組めるのは、「自助」と「共助」です。「自分たちの身は自分たちで守る」「地域は地域で守る」という意識を持ち、一人ひとりが日頃から備えることが大切です。そして、「自助」「共助」「公助」が連携することで、地域全体の防災力は高まります。防災の日を機に、それぞれの役割を改めて考え、家庭や地域でできる備えを実践していきたいものです。

日	曜	行事予定	給食	学年	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	バス
1	Tue		○	1	○	○	○	○	○	○	15:20
			○	2	○	○	○	○	○	○	16:25
			○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
2	Wed	避難訓練(地震)	○	1	○	○	○	○	○	○	15:45
			○	2	○	○	○	○	○	○	16:45
			○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
3	Thu	厚岸翔洋 体験入学	○	1	○	○	○	○	○	○	15:25
			○	2	○	○	○	○	○	○	x
			○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
4	Fri	図書館バス ALT	○	1	○	○	○	○	○	○	15:20
			○	2	○	○	○	○	○	○	16:25
			○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
5	Sat			1							
				2							
				3							
6	Sun			1							
				2							
				3							
7	Mon	町研 研究大会	○	1	○	○	○	○	※	※	13:10
			○	2	○	○	○	○	※	※	x
			○	3	○	○	○	○	※	※	x
8	Tue	朝会 ALT 前期専門委員会⑧(反省)	○	1	○	○	○	○	○	○	14:10
			○	2	○	○	○	○	○	○	15:20
			○	3	○	○	○	○	○	○	17:00
9	Wed	芸術鑑賞事業	○	1	○	○	○	○	○	○	14:25
			○	2	○	○	○	○	○	○	x
			○	3	○	○	○	○	○	○	17:00
10	Thu	総合A	○	1	○	○	○	○	○	○	15:20
			○	2	○	○	○	○	○	○	16:25
			○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
11	Fri	全学年ジャージ登校(クリーン厚岸) 釧路江南 学校説明会 ALT	○	1	○	○	○	○	○	○	15:25
			○	2	○	○	○	○	○	○	16:25
			○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
12	Sat			1							
				2							
				3							
13	Sun			1							
				2							
				3							
14	Mon	生徒会役員選挙	○	1	○	○	○	○	○	○	15:45
			○	2	○	○	○	○	○	○	16:45
			○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
15	Tue	図書館バス ALT Q-U②・いじめアンケート(3年生)	○	1	○	○	○	○	○	○	15:20
			○	2	○	○	○	○	○	○	16:25
			○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
16	Wed	スクールカウンセラー(12:30-16:00)	○	1	○	○	○	○	○	○	15:45
			○	2	○	○	○	○	○	○	16:45
			○	3	○	○	○	○	○	○	x
17	Thu	職員会議(10月行事)・校内研修③	○	1	○	○	○	○	○	○	14:10
			○	2	○	○	○	○	○	○	x
			○	3	○	○	○	○	○	○	x
18	Fri	ALT	○	1	○	○	○	○	○	○	15:25
			○	2	○	○	○	○	○	○	16:25
			○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
19	Sat			1							
				2							
				3							
20	Sun			1							
				2							
				3							
21	Mon	敬老の日		1							
				2							
				3							
22	Tue	国民の休日		1							
				2							
				3							
23	Wed	秋分の日		1							
				2							
				3							
24	Thu	衣替え準備期間(~30日) ALT 特別支援学級授業見学(午後)	○	1	○	○	○	○	○	○	15:20
			○	2	○	○	○	○	○	○	16:25
			○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
25	Fri	英語検定	○	1	○	○	○	○	○	○	15:20
			○	2	○	○	○	○	○	○	16:25
			○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
26	Sat	釧路湖陵 学校説明会		1							
				2							
				3							
27	Sun			1							
				2							
				3							
28	Mon		○	1	○	○	○	○	○	○	15:45
			○	2	○	○	○	○	○	○	16:45
			○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
29	Tue	全学年ジャージ登校 真中祭総練習 ALT	○	1	○	○	○	○	○	○	15:20
			○	2	○	○	○	○	○	○	x
			○	3	○	○	○	○	○	○	x
30	Wed		○	1	○	○	○	○	○	○	15:45
			○	2	○	○	○	○	○	○	x
			○	3	○	○	○	○	○	○	x

真龍中学校 学校評価アンケート① 集計・考察		生徒	保護者	職員		
		全体	全体	全体		
○重点1(探究) 「よりよい未来」を目指す 「本物の探究」の実現	①	総合的な学習の時間では、取組内容が明確になっていて、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表できるようになっている。		3.2	3.1	3.5
	②	高校説明会や職場体験学習、キャリアパスポートなど、キャリア教育がしっかり行われている。		3.4	3.1	3.6
	③	生徒会役員だけでなく、自分も生徒会の一員であるという意識をもって生活している。		2.7	2.3	3.1
○重点2 (学力向上) 自ら論理的思考を働かせる 「自律的学習者」の育成	④	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で調べるなど課題の解決に取り組んでいる。		3.3	3.2	3.3
	⑤	生徒同士で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする授業がよく行われていると思う。		3.3	3.0	3.2
	⑥	授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、順序立ててわかりやすく文章をまとめ発表している。		3.1	2.8	3.1
	⑦	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができるよう意識している。		3.0	2.6	3.3
	⑧	先生は、授業やテストで多く間違えたところや、理解していないと思われる内容について、家庭学習で取り組みやすいよう指導してくれている。		3.2	2.5	2.9
○重点3(心理的安全性) 良いところを認め合い、 結果を恐れず挑戦できる 学校	⑨	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。／保護者は、子供の良いところを褒めている。		3.3	3.0	3.6
	⑩	先生は、あなたのよくないところはしっかり指導してくれる。／保護者は、子供の良くないところを叱っている。		3.4	2.9	3.4
	⑪	他人の悪いところより、良いところを探そうとしている。／子供は他人の悪いところより良いところの話をする。		3.2	2.9	3.4
	⑫	困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。		2.8	2.5	3.3
	⑬	失敗を恐れずに様々なことに挑戦している。		3.0	2.6	2.9
	⑭	学校生活は楽しい。		3.2	3.1	3.0
その他	⑮	学校からの情報発信(学校だより、HP、学級通信など)は分かりやすく、学校の様子が伝わるようになっている。		3.3	2.9	3.5
	⑯	家庭での情報端末機器(スマホなど)の利用について、決めている利用時間やルールを書いてください。(記述式)				
	⑰	小学校との連携で、重要だと思ふことを書いてください。(記述式)				
	⑱	『よくわかる！真龍中学校』について、入れてほしい項目があれば書いてください。(記述式)				
	⑲	全体を通して、意見、要望、感想などを自由に書いてください。(記述式)				

3.5以上…良好
3.0未満…課題

記述内容は、下に
主なものを記載。

「考察」	【情報端末機器ルール】 (保護者) ・20時以降使用禁止(2件) ・20:30以降禁止(1件) ・1日1時間まで(1件) ・21時以降使用禁止(4件) ・1日2時間まで(2件) ・22時以降使用禁止(3件) ・1日3時間まで(1件)※ファミリーリンクで管理 ・平日1時間、休日3時間まで(1件) ・勉強してからでないと使えない(2件) ・悪口は書き込まない(2件) ・個人情報掲載は載せない(2件) ・食事中には使わない(2件) ・就寝前はスマホを見ない、部屋にもっていかない(2件) ・(勝手に)課金しない(2件) ・ルール検討中(1件) ・ルール決めてない、本人に任せている(6件) ・定期的または不定期に保護者がチェック(グループライン等)(2件) ◎スマホのトラブルが増えています。上記の回答を参考に、情報端末機器の利用に関するルールについて、ご家庭で一緒に相談しながら決めてください。
「考察」	【小中連携】 (生徒) ・小学生と交流したい。(2件) (保護者) ・小学校時代のトラブルについて、中学校の先生にわかっていてもらいたい。(1件) ◎小中連携部会の取組も含め、今後も情報を共有していきます。小学生に体育と英語で乗り入れ授業を行っています。小学生との交流は、そもそもカリキュラムが違うので、いろんな調整が必要です。
「考察」	【『よくわかる！真龍中学校』への追加事項】 (生徒)「よくわかる！真龍中学校」の存在自体を「知らない」「見たことがない」(2名) ※昨年度は28名この回答があったので、激減しています。 (保護者)進路通信のQRコードの追加。 (教師)機種変更したときの安心メールのQRコードの追加。津波時の避難場所。 放課後学習の時間や長期休業中の学習会の時間。 ◎いただいた意見をもとに、検討して改訂作業に入ります。小学校とも意見を共有しておきます。
「考察」	【自由記述】 ・委員会の日の下校時間の目安を教えてください。(1件) →委員会は15:10までを基本線としています。次年度の「よくわかる！真龍中」にも記載します。 ・学校評価の設問が答えづらい。「わからない」の選択肢が多い。(1件) →答えづらいものもあると思います。12月頃の第2回学校評価に向け方策を検討します。

真中生の活躍！！※成績上位のみ
【吹奏楽】 8月1日(土)《コーチャンフォー釧路文化ホール》 ■第63回釧路地区吹奏楽コンクール 中学校C編成の部 金賞 ※全道吹奏楽コンクール出場(札幌)
【陸上】 8月22日(土)～23日(日)《釧路市民陸上競技場》 ■釧路新人陸上競技大会 2年 横井志乃美 砲丸投1位・円盤投3位 ※全道新人陸上大会出場(札幌)
【野球】 8月20日(木)～26日(水)《京都府》 ■第11回全日本中学女子軟式野球大会 2回戦進出 2年 米澤 愛瑠 (JBC Hokkaido)
【空手】 8月22日(土)～23日(日)《アリーナ大阪》 ■第66回糸東会全国選手権大会 出場 2年 鈴木 叶太 (中学男子 形・組手)
【その他】 7月25日(土)《まなぼっと》 ■「少年の主張」釧路総合振興局地区大会 3年 加藤 菜々 優良賞

全国学力・学習状況調査の結果と考察
【結果】 ・国語は、全国平均正答率をやや下回りました。 言葉、情報、話すことは全国平均同様で、読むこと、書くことが下回りました。 ・数学は、全国平均正答率を下回りました。 データ活用は全国平均を上回り、数と式、図形、関数が下回りました。 ・英語は、IRT というスコアで表され、全国平均をやや下回りました。 英文から情報を読み取る力が高く、日常の話題に関して自分の思いを英文で書くことが苦手でした。
【考察】 ◎国語では、R80の取り組みを継続し、書くことの力を高めていきます。また、朝読書や長文読解問題に取り組むことで、読み取る力の向上を図ります。 ◎数学では、数学的用語を用いて理由を説明する問題の正答率が大きく下回っており、授業でアウトプットを重視した取り組みを増やしていきます。 ◎英語は、自分の思いを英語で表現することが苦手と出ているので、授業の中で単語ではなく英文でアウトプットする時間をさらに増やしていきます。 ◎授業だけでは、学びは定着しません。学んだことを繰り返す時間が必要です。放課後学習への促しや、家庭での学習の見守り等をぜひお願いいたします。